

2004年 経済学部教員研究活動報告(その2)

今泉博国

(論文)

- Common Pool Resources and Local Community Networking, 広島経済大学経済研究論集第27巻3号, 2004年12月 (共著)

(研究報告)

- 地域環境財としてのクリークの再生活動について, コモンプール研究会, 2004年2月29日, 於那須大学

(学会活動)

- 座長: 日本地域学会第41回年次大会
2004年9月11日, 於早稲田大学
- 討論者: 日本地域学会第41回年次大会
2004年9月12日, 於早稲田大学
- 座長: 日本計画行政学会第27回全国大会
2004年9月19日, 於慶応義塾大学
- レフェリー: 『地域学研究』
- レフェリー: 『現代経済学研究』
- 論文賞審査委員: 『計画行政』

(社会における活動)

- 大川市「情報公開審査会」委員, 至2006年3月31日
- 大川市「政治倫理審査会」会長, 至2006年10月31日
- 大川市立木室小学校学校評議員, 至2005年3月31日

(その他)

- シンポジュームの感想・意見, 『JAPA九州』第23号, 2004年12月31日

齋藤参郎

1. 査読論文

- [1.1] ZHU Wei, WANG De and SAITO Saburo, “Entrance Shopping Behavior of Consumers on East Nanjing Road”, *CITY PLANNING REVIEW* (in Chinese), Vol. 29, No. 5, 2005, pp. 14-21
- [1.2] 齋藤参郎・山城興介・中嶋貴昭, “隠れマルコフモデルによる地区間歩行者流動パターンの動的推定 —福岡市都心部での大名・国体道路・今泉地区への適用—”, 『地域学研究』, 日本地域学会, Vol. 34, No. 3, 2004, pp. 69-90
- [1.3] 齋藤参郎・花園祥子・中嶋貴昭・岩見昌邦・曾徳芳, “台北市における消費者の日常の購買行動特性 —業態別小売店舗への来店者購買行動調査(2002. 03)にもとづく実証分析—”, 『地域学研究』, 日本地域学会, Vol. 35, No. 1, 2005, 印刷中
- [1.4] 梶井昌邦・齋藤参郎, “決定木分析による都市型アミューズメント施設の来訪者特性評価”, 『地域学研究』, 日本地域学会, Vol. 35, No. 1, 2005, 印刷中
- [1.5] 田村三智子・齋藤参郎・中嶋貴昭・山城興介・岩見昌邦, “消費者行動調査にもとづくモノレール開通の影響予測 —那覇市でのケーススタディー—”, 『地域学研究』, 日本地域学会, Vol. 35, No. 1, 2005, 印刷中
- [1.6] 王徳・齋藤参郎・朱瑋・中嶋貴昭・劉鏜, “上海市中心商業地南京路における消費者行動に関する研究”, 『地域学研究』, 日本地域学会, 審査中
- [1.7] 梶井昌邦・齋藤参郎, “来街地ベースデータにもとづく都心部来街者の出向頻度特性ルールの抽出”, 『地域学研究』, 日本地域学会, 審査中
- [1.8] 齋藤参郎・山城興介・中嶋貴昭, “地下鉄開通による都心への経済効果の計測 —消費者行動アプローチにもとづく福岡都心部でのケーススタディー—”, 『地域学研究』, 日本地域学会, 審査中

- [1.9] 齋藤参郎・岩見昌邦・中嶋貴昭・初暁楠, “都市消費者の買物行動の国際比較分析 —上海、台北、福岡の消費者の典型7品目に対する購買行動および外食行動の比較—”, 『地域学研究』, 日本地域学会, 審査中

2. 一般論文

- [2.1] Saburo Saito, Kosuke Yamashiro and Takaaki Nakashima, “A hidden Markov model to estimate time-varying pedestrian flows within a city center retail district”, Paper presented at RSAI WORLD CONGRESS 2004 held at Port Elizabeth, South Africa, 2004
- [2.2] Kenichi Ishibashi and Saburo Saito, “Evaluating strength and weakness of a city center retail environment based on consumers’ shop-around behavior : A case study of Fujisawa city, Japan”, Paper presented at RSAI WORLD CONGRESS 2004 held at Port Elizabeth, South Africa, 2004
- [2.3] Masakuni Kakoi and Saburo Saito, “Mining frequent shopper’s characteristics of urban commercial complex with decision tree”, Paper presented at RSAI WORLD CONGRESS 2004 held at Port Elizabeth, South Africa, 2004
- [2.4] Takaaki Nakashima and Saburo Saito, “The bias corrected estimation of OD pattern from on-site trip-chain data with application: An on-site consistent estimation of consumer shop-around flows at a city center commercial district”, Paper presented at RSAI WORLD CONGRESS 2004 held at Port Elizabeth, South Africa, 2004
- [2.5] 齋藤参郎, “第6回学術大会研究発表 概要および座長・コメントーターの総括”, 『環境共生』, Vol. 9, 日本環境共生学会, 2004, pp. 16-17

- [2.6] 斎藤参郎・本村裕之, “渡航需要の簡易推定法による韓国からの旅行者予測とその精度”, 日本地域学会第 41 回 (2004 年) 年次大会提出論文, 全 6 ページ
- [2.7] 梶井昌邦・斎藤参郎, “都心部来街者の出向頻度特性ルール抽出”, 日本地域学会第 41 回 (2004 年) 年次大会提出論文, 全 11 ページ
- [2.8] 田村三智子・斎藤参郎・花園祥子, “モノレール開通による影響の事前および事後分析 - 消費者行動にもとづく那覇市でのケーススタディー”, 日本地域学会第 41 回 (2004 年) 年次大会提出論文, 全 11 ページ
- [2.9] 斎藤参郎・山城興介・中嶋貴昭, “地下鉄開通による都心への経済効果の計測 - 消費者行動アプローチにもとづく福岡都心部でのケーススタディー”, 日本地域学会第 41 回 (2004 年) 年次大会提出論文, 全 7 ページ
- [2.10] 中嶋貴昭・斎藤参郎, “来街地ベース OD パターン一致推定法の感度分析”, 日本地域学会第 41 回 (2004 年) 年次大会提出論文, 全 7 ページ
- [2.11] 斎藤参郎・岩見昌邦・中嶋貴昭・初暁楠, “都市消費者の買物行動の国際比較分析 - 上海、台北、福岡の消費者の典型 7 品目に対する購買行動および外食行動の比較 -”, 日本地域学会第 41 回 (2004 年) 年次大会提出論文, 全 14 ページ
- [2.12] 今西衛・斎藤参郎, “都市再生機構における特定業務代行方式の制度分析”, 『社団法人日本不動産学会平成 16 年度秋季全国大会 (学術講演会) 梗概集 20』, 社団法人日本不動産学会, 2004, pp. 13-16
- [2.13] 中嶋貴昭・斎藤参郎, 「路面店集積商業地における回遊を考慮した売上高予測と路線価予測 - 来街地調査にもとづく回遊パターンの一致推定法と大名地区内路線価予測への応用 -」, 『社団法人日本不動産学会平成 16 年度秋季全国大会 (学術講演会) 梗概集 20』, 社団法人

日本不動産学会，2004，p. 99

- [2.14] 梶井昌邦・池田彩・大丸美紗起・福田祐子・斎藤参郎・中嶋貴昭，「マンションの名称からみた福岡都心住宅地名の勢力圏分析—住宅地のエクイティ分析の試み」，『社団法人日本不動産学会平成16年度秋季全国大会（学術講演会）梗概集20』，社団法人日本不動産学会，2004，p. 101
- [2.15] 斎藤参郎・山城興介・中嶋貴昭，“都市エクイティ研究のすすめ～福岡市地下鉄3号線開業による都市への集客経済効果の予測を例として～”，『九州マーケティング・アイズ』，九州マーケティング協会，Vol. 32，2005，pp. 2-5
- [2.16] 斎藤参郎，“学術集会だより 日本不動産学会平成16年度秋季全国大会 —消費者回遊行動研究を都市エクイティ研究へ—”，『Research』，福岡大学研究推進部，Vol. 10，No. 1，2005，pp. 10-12
- [2.17] 斎藤参郎，“地域の研究機関の紹介 福岡大学都市空間情報行動研究所”，『JAPA九州』，日本計画行政学会九州支部，第24号，2005，pp. 21-22
- [2.18] 斎藤参郎，“2004年度日本不動産学会秋季全国大会20周年記念シンポジウム「都市再生と都市エクイティ —これからどうする、これからどうなる福岡都心—」 基調講演「回遊による都市再生 ～行動から情報へ～」”，『日本不動産学会誌』，社団法人日本不動産学会，No. 72，2005，pp. 8-17

3. 書評、特集

- [3.1] 斎藤参郎編，“2004年度日本不動産学会秋季全国大会20周年記念シンポジウム「都市再生と都市エクイティ —これからどうする、これからどうなる福岡都心—」 パネルディスカッション”，『日本不動産学会誌』，社団法人日本不動産学会，No. 72，2005，pp. 18-39

4. 報告書, 梗概集

- [4.1] 福岡大学都市空間情報行動研究所編, 『福岡大学都市空間情報行動研究所 研究所案内』, 福岡大学都市空間情報行動研究所, 2004, 全 257 ページ
- [4.2] 福岡大学都市空間情報行動研究所編, 『2000 年度～2003 年度 研究成果報告書』, 福岡大学都市空間情報行動研究所, 2004, 全 600 ページ
- [4.3] 福岡大学都市空間情報行動研究所・福岡大学経済学部斎藤研究室・福岡大学経済学部梶井研究室編, 『第 3 回福岡都心部まちづくりマーケティング調査研究発表会梗概集』, 福岡大学都市空間情報行動研究所, 2004, 全 76 ページ
- [4.4] 福岡大学都市空間情報行動研究所編, 『平成 12 年度～平成 16 年度私立大学学術研究高度化推進事業「学術フロンティア推進事業」研究成果報告書』(第 1 分冊), 福岡大学都市空間情報行動研究所, 2005, 全 697 ページ
- [4.5] 福岡大学都市空間情報行動研究所編, 『平成 12 年度～平成 16 年度私立大学学術研究高度化推進事業「学術フロンティア推進事業」研究成果報告書』(第 2 分冊), 福岡大学都市空間情報行動研究所, 2005, 全 597 ページ

5. 特許申請, 特許公開

■特許公開

- [5.1] 公開特許「回遊行動把握システム及びナビゲーションシステム」, 特許出願公開番号: 特開 2004-102697 (P 2004-102697 A), 2004 年 4 月 2 日

6. 学会発表

- [6.1] Saburo Saito, Kosuke Yamashiro and Takaaki Nakashima, “A hidden Markov model to estimate time-varying pedestrian flows within a city center retail district”, RAI (REGIONAL SCIENCE ASSOCIATION INTERNATIONAL) WORLD CONGRESS 2004 in Elizabeth, South Africa, 2004. 04. 14.- 04. 17.
- [6.2] Kenichi Ishibashi and Saburo Saito, “Evaluating strength and weakness of a city center retail environment based on consumers’ shop-around behavior: A case study of Fujisawa city, Japan” , RAI (REGIONAL SCIENCE ASSOCIATION INTERNATIONAL) WORLD CONGRESS 2004 in Elizabeth, South Africa, 2004. 04. 14.- 04. 17.
- [6.3] Masakuni Kakoi and Saburo Saito, “Mining frequent shopper’s characteristics of urban commercial complex with decision tree”, RAI (REGIONAL SCIENCE ASSOCIATION INTERNATIONAL) WORLD CONGRESS 2004 in Elizabeth, South Africa, 2004. 04. 14.- 04. 17.
- [6.4] Takaaki Nakashima and Saburo Saito, “The bias corrected estimation of OD pattern from on-site trip-chain data with application: An on-site consistent estimation of consumer shop-around flows at a city center commercial district”, RAI (REGIONAL SCIENCE ASSOCIATION INTERNATIONAL) WORLD CONGRESS 2004 in Elizabeth, South Africa, 2004. 04. 14.- 04. 17.
- [6.5] まちづくりマーケティング研究部会 齋藤参郎 研究概要報告, 日本マーケティング・サイエンス学会 第75回研究大会, 於 福岡大学, 2004年6月11・12日
- [6.6] 齋藤参郎・本村裕之, “渡航需要の簡易推定法による韓国からの旅行

- 者予測とその精度”，日本地域学会 第 41 回年次大会，於 早稲田大学，2004 年 9 月 11・12 日
- [6.7] 梶井昌邦・斎藤参郎，“都心部来街者の出向頻度特性ルール抽出”，日本地域学会 第 41 回年次大会，於 早稲田大学，2004 年 9 月 10・11 日
- [6.8] 田村三智子・斎藤参郎・花園祥子，“モノレール開通による影響の事前および事後分析 —消費者行動にもとづく那覇市でのケーススタディー”，日本地域学会 第 41 回年次大会，於 早稲田大学，2004 年 9 月 11・12 日
- [6.9] 斎藤参郎・山城興介・中嶋貴昭，“地下鉄開通による都心への経済効果の計測 —消費者行動アプローチにもとづく福岡都心部でのケーススタディー”，日本地域学会 第 41 回年次大会，於 早稲田大学，2004 年 9 月 11・12 日
- [6.10] 中嶋貴昭・斎藤参郎，“来街地ベース OD パターン一致推定法の感度分析”，日本地域学会 第 41 回年次大会，於 早稲田大学，2004 年 9 月 11・12 日
- [6.11] 斎藤参郎・岩見昌邦・中嶋貴昭・初暁楠，“都市消費者の買物行動の国際比較分析 —上海、台北、福岡の消費者の典型 7 品目に対する購買行動および外食行動の比較—”，日本地域学会 第 41 回年次大会，於 早稲田大学，2004 年 9 月 11・12 日
- [6.12] 中嶋貴昭・斎藤参郎，“来街者調査にもとづく回遊パターンの一致推定法と来街者数推定”，西日本理論経済学会 第 127 回例会，於 西南学院大学，2004 年 10 月 23 日
- [6.13] 今西衛・斎藤参郎，“都市再生機構における特定業務代行方式の制度分析”，社団法人日本不動産学会平成 16 年度秋季全国大会（学術講演会），於 福岡大学，2004 年 10 月 20・21 日
- [6.14] 梶井昌邦・池田彩・大丸美紗起・福田祐子・斎藤参郎・中嶋貴昭，“マ

ンションの名称からみた福岡都心住宅地名の勢力圏分析－住宅地の
エクイティ分析の試み”，社団法人日本不動産学会平成 16 年度秋季全
国大会（学術講演会），於 福岡大学，2004 年 10 月 20・21 日

- [6.15] 中嶋貴昭・斎藤参郎，“路面店集積商業地における回遊を考慮した売
上高予測と路線価予測－来街地調査にもとづく回遊パターンの一
致推定法と大名地区内路線価予測への応用－”，社団法人日本不動産
学会平成 16 年度秋季全国大会（学術講演会），於 福岡大学，2004 年
10 月 20・21 日
- [6.16] 今西衛・斎藤参郎，“都市再生機構における特定業務代行方式の制度
分析”，西日本理論経済学会第 128 回例会，於 久留米大学，2005 年 2
月 19 日

7. 研究調査の実施

- [7.1] 『ハノイ都心部消費者回遊行動調査』
調査日：2004 年 5 月
調査対象地区：ハノイ市都心部（ベトナム）
調査方法：ハノイ市都心部へ訪れた消費者に対する来街地ベース聞
き取りアンケート調査
調査項目：個人属性，回遊行動履歴，ハノイ市都心部への出向頻度等
- [7.2] 『ハノイ商業立地形態別購買行動調査』
調査日：2004 年 5 月
調査対象地区：ハノイ市都心部（ベトナム）
調査方法：各調査場所への来店者を対象にした聞き取りアンケート
調査
調査項目：個人属性，調査地点への出向頻度，購入品目，品目別出向
頻度，品目別行先選択等

- [7.3] 『ハノイ都市圏消費者行動ダイアリー調査』
調査日：2004年5月
調査方法：ハノイ都市圏居住者の居住地に訪問し、そこでの居住者に調査票を配布し、記入後、回収する居住地ベースアンケート調査
調査項目：個人属性、ハノイ市都心部、郊外ショッピングセンター、近隣商店街への時間距離、出向回数、支出額
- [7.4] 『郊外ショッピングセンターにおける消費者行動調査』
調査日：2004年7月3日（土）、4日（日）
調査対象地区：福岡市郊外に立地する大型郊外ショッピングセンター
調査場所：マリノアシティ福岡、トリアス久山、ダイヤモンドシティ・ルクル
調査方法：各店舗の来店者に対する来街地ベース聞き取りアンケート調査
調査項目：個人属性、調査地点での当日の買物行動、日常の買物行動等
有効サンプル数：353サンプル
- [7.5] 『第9回福岡都心部回遊行動調査』
調査日：2004年7月10日（土）、11日（日）
調査対象地区：福岡市都心部
調査場所：ソラリアプラザ、博多駅コンコース、キャナルシティ博多、ショッパーズダイエー、岩田屋Zサイド、大丸・エルガーラ、福岡三越、博多リバレイン
調査方法：福岡市都心部への来街者を対象とした聞き取りアンケート調査
調査項目：個人属性、回遊行動履歴、主要店舗への出向頻度、消費者の購買態度等

有効サンプル数：682 サンプル

- [7.6] 『第2回那覇都心部における消費者行動調査』（沖縄大学地域研究所との共同企画）

調査日：2004年7月10日（土）、11日（日）

調査対象地区：那覇市都心部

調査場所：沖縄三越、パレットくもじ、天久りうぼう楽市、あつぷるタウン

調査方法：那覇市都心部への来街者を対象とした聞き取りアンケート調査

調査項目：個人属性、国際通り・新都心までの所要時間及び交通費、国際通り・新都心への主な交通機関、沖縄モノレール開通以前と以後の国際通りと新都心への出向頻度の変化等

有効サンプル数：345 サンプル

- [7.7] 『天神地区高速バス所要時間調査』

調査日：2004年10月24日（日）

調査対象地区：福岡市天神地区

調査場所：天神北ランプ、西鉄天神バスセンター

調査方法：天神北ランプから降りてきた高速バスの通過時間と西鉄天神バスセンターの到着時間と降車人数を計測

- [7.8] 『天神・博多駅エコルカード利用実態調査』

調査日：2004年10月28日（木）～11月1日（月）

調査対象地区：福岡市都心部

調査場所：博多駅交通センター3階、西鉄福岡（天神）駅1階（西鉄サービスセンター）

調査方法：エコルカード購入者に任意で回答してもらった留置きアンケート調査と、2004年10月31日に実施した聞き取りア

ンケート調査

調査項目：エコルカード利用による都心部への出向頻度, エコルカード使用による目的別優先順位, 福岡都心部への1来街あたりの支出金額等

有効サンプル数：138 サンプル

[7.9] 『福大生のエコルカード利用実態調査』

調査日：2004年10月27日(水), 11月2日(火)

調査対象地区：福岡大学内

調査場所：福岡大学

調査方法：地域システム入門, 情報システム論B, 理論経済学IA, システム分析Bの講義受講者を対象とした配布回収によるアンケート調査

調査項目：エコルカードの有無, エコルカード利用による都心部への出向頻度, エコルカード使用による目的別優先順位, 福岡都心部への1来街あたりの支出金額等

有効サンプル数：266 サンプル

[7.10] 『天神地区における高齢者購買行動調査』

調査日：2004年11月29日(月), 12月4日(土), 12月5日(日)

調査対象地区：福岡市都心部

調査場所：新天町メルヘン広場前

調査方法：福岡市都心部へ来訪した高齢者を対象とした聞き取りアンケート調査

調査項目：個人属性, 当日の天神地区での行動履歴, 天神地区への出向頻度, 西鉄グランドパスの有無等

有効サンプル数：162 サンプル

[7.11] 『天神地区ブランド購買調査』

調査日：2004年12月4日（土）、12月5日（日）

調査対象地区：福岡市都心部

調査場所：岩田屋、三越、大丸

調査方法：福岡市都心部の上記百貨店へ来店した女性を対象とした聞き取りアンケート調査

調査項目：個人属性、天神地区の各百貨店への出向頻度、被験者のこれまでのブランド購買履歴、ファッションに対する考え方・態度等

有効サンプル数：600 サンプル

[7.12] 『第3回大名地区消費者回遊行動調査』

調査日：2004年12月4日（土）、5日（日）

調査対象地区：福岡市中央区大名

調査場所：ビームス、シッパス、ユナイテッドアローズ

調査方法：大名地区の来街者を対象とした聞き取りアンケート調査

調査項目：個人属性、回遊行動履歴、主要店舗への出向頻度、大名地区に対する要望等

有効サンプル数：115 サンプル

[7.13] 『今泉地区店舗立地動向調査』

調査日：2004年12月6日（月）、12月7日（火）、12月8日（水）、12月9日（木）

調査対象地区：福岡市今泉地区

調査場所：今泉地区内にあるファッション系の店舗

調査方法：調査員が店舗に直接出向いた聞き取りアンケート調査

調査項目：営業形態、対象とする年齢層、取り扱っているファッションアイテム、店舗のコンセプト等

有効サンプル数：47 サンプル

8. 講演

- [8.1] 2004年7月28日 福岡コミュニケーションフォーラム7月例会
(於 岩田屋本店) 斎藤参郎, 『福岡都心部における消費者回遊行動
について ―動線ビジネスへの視点―』
- [8.2] 2004年10月30日 2004年度「科学を語る会」第2回講演会(於
九州エネルギー館 エネルギーホール) 斎藤参郎, 『リスクからみた
消費者行動と都市形成』
- [8.3] 2004年11月9日 GITA-JAPAN主催 GITA-JAPAN第15回
(2004年)コンファレンス基調講演(於 アクロス福岡4F国際会議
場) 斎藤参郎, 『リアルGISによる都市再生』
- [8.4] 2004年11月20日 日本不動産学会主催 日本不動産学会平成16年度
秋季全国大会設立20周年記念シンポジウム「都市再生と都市エクイ
ティ ―これからどうなる、これからどうする福岡都心」基調講演(於
福岡大学) 斎藤参郎, 『回遊による都市再生～行動から情報へ～』
- [8.5] 2004年11月20日 日本不動産学会主催 日本不動産学会平成16
年度秋季全国大会設立20周年記念シンポジウム「都市再生と都市エク
イティ ―これからどうなる、これからどうする福岡都心」のパネ
ルディスカッションに斎藤参郎所長が出演(於 福岡大学)
- [8.6] 『日本不動産学会誌』(社団法人日本不動産学会) No. 72に、2004年
度日本不動産学会秋季全国大会20周年記念シンポジウム 基調講演
「回遊による都市再生 ～行動から情報へ～」の内容が掲載される。
(pp. 8-17)
- [8.7] 『日本不動産学会誌』(社団法人日本不動産学会) No. 72に、2004年
度日本不動産学会秋季全国大会20周年記念シンポジウム パネル
ディスカッションの内容が掲載される。(pp. 18-39)

9. 研究会, 学会の開催

- [9.1] 2004年8月6日 平成16年度地理情報システム学会九州地方事務局
総会および研究発表会 開催 (於 福岡大学)
『平成16年度地理情報システム学会九州地方事務局総会および研究
発表会』
開催日: 2004年8月6日 (金) 13:30-17:30
会場: 福岡大学 文系センター棟 A棟 203号教室
1. 価値ある自治体 GIS とは何か —市川市の事例の検討—
発表者: 大場享 (早稲田大学)
 2. 市町村 GIS 構築の最近の動向と共同センター方式への展望
発表者: 松田欣也 (直方市役所), 徳永修治 (那珂川町役場),
則松秀樹 (甘木市役所), 井上英俊 (飯塚市役所), 村
上浩明 (大牟田市役所), 岡辰磨 (大川市役所), 杉尾
正則 (福岡県市町村研究所) ほか
 3. GIS で何を実現するのか?
—IT コンサルティングの現場から見てきたもの—
発表者: 下堂蘭一将 (株式会社南州コンサルタント)
- [9.2] 2004年9月11日・12日 日本地域学会第41回年次大会にて、特別
セッション『買物行動と回遊モデル』開催
『買物行動と回遊モデル』
開催日: 2004年9月11日 (土)・12日 (日)
会場: 早稲田大学
座長: 買物行動と回遊モデル I
松本昭夫 (中央大学)・樋口清秀 (早稲田大学)
買物行動と回遊モデル II

廣島康裕（豊橋技術科学大学）・山口誠（豊橋技術科学大学）

オーガナイザー：斎藤参郎（福岡大学）

9月12日（日）「買物行動と回遊モデルⅠ」

1. 消費者の回遊行動目的データを用いた商業地評価－藤沢市の事例－

発表者：石橋健一（慶応義塾大学）

討論者：中川義英（早稲田大学）・岩崎邦彦（静岡県立大学）

2. 都心型広域集客施設がもたらす都心活性化効果に関する研究

発表者：三阪朋彦（名古屋工業大学）・兼田敏之（名古屋工業大学）

討論者：松葉敬之（岐阜聖徳学園大学）・古倉宗治（（財）土地総合研究所）

3. 渡航需要の簡易推定法による韓国からの旅行者予測とその精度

発表者：斎藤参郎（福岡大学）・本村裕之（福岡大学）

討論者：実積寿也（九州大学）・島根哲哉（東京工業大学）

4. 都心部来街者の出向頻度特性ルールの抽出

発表者：梶井昌邦（福岡大学）・斎藤参郎（福岡大学）

討論者：樋口洋一郎（東京工業大学）・実積寿也（九州大学）

9月12日（日）「消費者買物行動と回遊モデルⅡ」

1. モノレール開通による影響の事前および事後分析

－消費者行動にもとづく那覇市でのケーススタディー－

発表者：田村美智子（沖縄大学）・花園祥子（福岡大学）・斎藤参郎（福岡大学）

討論者：石坂悦男（法政大学）・鈴木克男（北星学園大学）

2. 地下鉄開通による都心への経済効果の計測

－消費者行動アプローチにもとづく福岡都心部でのケーススタディー－

発表者：斎藤参郎（福岡大学）・山城興介（福岡大学）・中嶋貴昭（福岡大学）

討論者：浅見均（（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構）・中平恭之（近畿大学工業高等専門学校）

3. 来街地ベース OD パターン一致推定法の感度分析

発表者：中嶋貴昭（福岡大学）・斎藤参郎（福岡大学）

討論者：福重元嗣（大阪大学）・兼田敏之（名古屋工業大学）

4. 都市消費者の買物行動の国際比較分析

— 上海、台北、福岡の消費者の典型 7 品目に対する購買行動および外食行動の比較 —

発表者：斎藤参郎（福岡大学）・岩見昌邦（福岡大学）・中嶋貴昭（福岡大学）・初暁楠（福岡大学）

討論者：野上健治（福岡工業大学）・近藤光男（徳島大学）

[9.3] 2004 年 11 月 20 日・21 日 社団法人日本不動産学会 平成 16 年度秋季全国大会 開催

『社団法人日本不動産学会 平成 16 年度秋季全国大会（学術講演会）』

開催日：2004 年 11 月 20 日（土）・21 日（日）

会場：福岡大学

11 月 20 日 2004 年度日本不動産学会秋季全国大会設立 20 周年記念シンポジウム「都市再生と都市エクイティ —これからどうなる、これからどうする福岡都心—」

コーディネーター：細江守紀（九州大学 教授）

プログラム

1) 開会挨拶

2) 来賓挨拶：山崎広太郎（福岡市長）

3) 基調講演 「回遊による都市再生 ～行動から情報へ～」

斎藤参郎（福岡大学都市空間情報行動研究所 所長，福岡大学教授）

4) イベント：ギンギラ太陽's 公演

5) パネルディスカッション

パネリスト：長尾亜夫（西日本鉄道 代表取締役社長）・石原進（九州旅客鉄道 代表取締役社長）・小田原智一（九州電力 常務取締役）・岩井光男（三菱地所設計 専務取締役）・斎藤参郎（福岡大学都市空間情報行動研究所 所長）・出口敦（九州大学 助教授）

司会：田中一彦（西日本新聞 編集規格委員長）

場所：福岡大学 有朋会館

11月21日 2004年度日本不動産学会秋季全国大会ワークショップ
「消費者行動と都市エクイティ I」

コーディネーター：斎藤参郎（福岡大学）・両角光男（熊本大学）・出口敦（九州大学）・福岡大学都市空間情報行動研究所（FQBIC）

座長：出口敦（九州大学）・梅井昌邦（福岡大学）

場所：福岡大学 A棟 203教室

1. 福岡都心部における回遊性と空間特性に関する研究

—天神の休憩空間と大名の街路空間を事例として—

発表者：長聡子（九州大学） コメンテーター：斎藤参郎（福岡大学）

2. 都市空間における来訪者の回遊行動と視覚情報の関係分析

発表者：金崎瑞希（熊本大学）・永野賢作（熊本大学）

コメンテーター：石橋健一（慶応義塾大学）

3. 路面店集積商業地における回遊を考慮した売上高予測と路線価予測
ー来街地調査にもとづく回遊パターンの一致推定法と大名地区
内路線価予測への応用ー

発表者：中嶋貴昭（福岡大学）・斎藤参郎（福岡大学）

コメンテーター：両角光男（熊本大学）

11月21日 2004年度日本不動産学会秋季全国大会ワークショップ
「消費者行動と都市エクイティ II」

コーディネーター：斎藤参郎（福岡大学）・両角光男（熊本大学）・
出口敦（九州大学）・福岡大学都市空間情報行
動研究所（FQBIC）

座長：両角光男（熊本大学）・石橋健一（慶応義塾大学）

場所：福岡大学 A棟203教室

1. 来街者の視点から見た熊本市中心市街地について

発表者：中林武（熊本大学）・財津麻子（熊本大学）

コメンテーター：梶井昌邦（福岡大学）

2. マンションの名称からみた福岡都心住宅地名の勢力圏分析

ー住宅地のエクイティ分析の試みー

発表者：梶井昌邦（福岡大学）・斎藤参郎（福岡大学）・池田彩
（福岡大学）・大丸美起（福岡大学）・福田祐子（福岡
大学）・中嶋貴昭（福岡大学）

コメンテーター：出口敦（九州大学）

3. 自由回答データにもとづく都市整備課題の抽出

ー藤沢市におけるケーススタディーー

発表者：石橋健一（慶応義塾大学）

コメンテーター：両角光男（熊本大学）

[9.4] 2004年12月15日 『第3回福岡都心部まちづくりマーケティング』

調査研究発表会』開催（於 よみうりプラザ）

『大名・西通り街づくりマーケティング調査研究発表会』

開催日：2004年12月15日（水） 10:30－17:00

会場：よみうりプラザ

オーガナイザー：斎藤参郎，梅井昌邦

1. 岩田屋リニューアルによる来店者購買行動の変化に関する分析
－目的の実現率，出向頻度，支出額に着目して－
発表者：小野紗央里・柴田琴美・西野亜希子・藤田実葵子
2. 消費者選択行動からみた天神地区主要百貨店のブランドショップ構成評価
発表者：日永田千里・伊藤裕美・安藤勇一郎・佐野恵美子・猪股あゆみ・中西久美子・坂梨嘉子・加藤和弘
3. 郊外ショッピングセンターにおける消費者の購買行動特性分析
発表者：今里弘樹・今村美樹・浦川遼一朗・江口雅彦・江崎舞・片山貴史・小森香菜子・佐藤貴裕・島添陽一郎・田邊彩野・谷井次郎・徳田将也・鶴見文美・豊福あゆ子・中島睦月・福田将人・藤田紗文・古里麗香・村中正博・村山広明・盛島可奈絵・山本真生
4. どんな消費者が都心部から郊外店へシフトしたのか？
－郊外ショッピングセンター出店による福岡都心部への影響分析－
発表者：松尾慎介・小野恵一郎・吉武隆光
5. 大名地区における店舗間の相互作用を考慮した立地動向分析
発表者：一郷龍弥
6. 今泉地区における店舗間相互認知マップ分析
発表者：中山俊春・淵大展・宮原寛行
7. ファッション系統・ターゲット層・取り扱いアイテムによる大名

地区の特性分析—自己組織化マップによる街の特徴分類に関する考察

発表者：小田泰三・鍵本昌宏・川島恵介

8. テキストマイニングによる大名の流行ファッションに関するキーワード抽出

発表者：辻口佳貴・大塚真一郎

9. 自由回答データにもとづく大名の魅力と課題

発表者：池田鉄兵・稲垣慧・佐々木達弘・富田龍・中村亮・夏井博之

10. 消費者のイメージによる天神・大名・今泉地区の類似性分析

発表者：古里拓也・豊嶋俊樹

11. 今泉地区における店舗間相互認知マップ分析

発表者：中山俊春・瀧大展・宮原寛行

12. 都市圏外からの来街者の福岡都心部における購買行動特性分析

発表者：中山三紀夫・川崎勇吉・堀江勇輔

13. 今泉地区における店舗間相互認知マップ分析

発表者：中山俊春・瀧大展・宮原寛行

14. 福岡都心部来街者の滞在時間の決定要因に関する分析

発表者：榊貴徳・樋口涼介・林田雄一

15. 天神地区における中高年齢層来街者の行動特性と地区評価

発表者：井堀可奈子・下野智子・西山香織・堀真理子

16. エコルカード利用の決定要因と福岡都心部への経済効果

発表者：堤希代奈・島津史・岸本綾乃・菊地美和

- [9.5] 『日本不動産学会誌』（社団法人日本不動産学会）No. 72 に、2004 年度日本不動産学会秋季全国大会 20 周年記念シンポジウム 基調講演「回遊による都市再生 ～行動から情報へ～」の内容が掲載される。

(pp. 8-17)

[9.6] 『日本不動産学会誌』(社団法人日本不動産学会) No. 72 に、2004 年度日本不動産学会秋季全国大会 20 周年記念シンポジウム パネルディスカッションの内容が掲載される。(pp. 18-39)

[9.7] 2005 年 1 月 19 日 第 1 回ハイパーテキストシティ研究会開催
『第 1 回ハイパーテキストシティ研究会』

開催日：2005 年 1 月 19 日 (水) 13:00-16:00

会場：福岡大学文系センター 11 階 学部共通室 B

参加者：下野元也, 吉住信哉 (JR 九州), 瀬川正剛, 永竿哲哉 (西日本鉄道), 山下東吾, 立山和幸 (九州電力), 青柳京一, 穴井誠二 (ゼンリン), 斎藤参郎, 中嶋貴昭 (福岡大学都市空間情報行動研究所) (敬称略・順不同)

参加者：

1. ハイパーテキストシティ研究会 趣意説明

斎藤参郎教授 (福岡大学都市空間情報行動研究所)

2. 2 次元コード (QR コード) 活用事例紹介

青柳京一氏 (株式会社ゼンリン IT ビジネス部新規事業企画担当)

3. 意見交換

[9.8] 2005 年 2 月 17 日 第 2 回ハイパーテキストシティ研究会開催
『第 2 回ハイパーテキストシティ研究会』

開催日：2005 年 2 月 17 日 (木) 14:00-16:20

会場：福岡大学文系センター 2 階 第 2 会議室

参加者：下野元也, 吉住信哉 (JR 九州), 池上匡亮, 瀬川正剛 (西日本鉄道), 立山和幸, 金房慎二郎 (九州電力), 青柳京一, 穴井誠二 (ゼンリン), 堀内隆広 (福岡市), 斎藤参郎, 中嶋貴

昭, 山城興介, 岩見昌邦 (福岡大学都市空間情報行動研究所), 加藤洋一 (経済産業省), 田上哲也 (九州経済産業局)
(敬称略・順不同)

1. 講演「“情報経済時代”の情報政策の方向性」

加藤洋一氏 (経済産業省 商務情報政策局 情報経済課・課長)

※中小企業庁次長 西村雅夫氏からの紹介

2. ハイパーテキストシティの利用モデルの検討結果報告

JR 九州, 福岡大学都市空間情報行動研究所より報告

3. 意見交換

[9.9] 2005年3月11日 第3回ハイパーテキストシティ研究会開催

『第3回ハイパーテキストシティ研究会』

開催日: 2005年3月11日 (金) 15:00-18:00

会場: 福岡大学文系センター2階 第2会議室

参加者: 下野元也, 吉住信哉 (JR九州), 立山和幸 (九州電力), 青柳
京一, 穴井誠二 (ゼンリン), 堀内隆広 (福岡市), 山口文久氏
(NTTドコモ), 斎藤参郎, 中嶋貴昭, 山城興介, 岩見昌邦 (福
岡大学都市空間情報行動研究所) (敬称略・順不同)

1. 講演「モバイルを活用したリアル連携ビジネス」

山口文久氏 (株式会社NTTドコモ 法人営業本部 プロダクト
ビジネス部 プロダクト開発担当部長)

2. ハイパーテキストシティの利用モデルの検討結果報告

九州電力より報告

3. 第2回研究会での検討結果報告についての議論

4. 意見交換

[9.10] 2005年3月30日 第4回ハイパーテキストシティ研究会開催

『第4回ハイパーテキストシティ研究会』

開催日：2005年3月30日（水） 15:00－18:00

会場：福岡大学文系センター2階 第2会議室

参加者：下野元也，吉住信哉（JR九州），永竿哲哉，瀬川正剛，池上
匡亮（西日本鉄道），金房慎二郎（九州電力），青柳京一（ゼ
ンリン），堀内隆広（福岡市），福岡寛之，阿部博則（KDDI），
斎藤参郎，中嶋貴昭，山城興介，岩見昌邦（福岡大学都市空
間情報行動研究所）（敬称略・順不同）

1. 講演「携帯電話が拓くユビキタス社会」

福岡寛之（KDDI株式会社技術開発本部 開発推進部
ユビキタスネットワークグループ・課長）

2. ハイパーテキストシティの利用モデルの検討結果報告

3. 意見交換

10. 新聞・雑誌報道（研究活動への取材記事）

- [10.1] 「シリーズ 斎藤教授に聞く（上）－岩田屋新本館の移動で天神の
重心が移動?!－」，岩田屋社内報『きらめき』8月号，2004
- [10.2] 「シリーズ 斎藤教授に聞く（中）－新旧混在の街・大名 来街者
1日55,000人－」，岩田屋社内報『きらめき』9月号，2004
- [10.3] 「シリーズ 斎藤教授に聞く（下）－まちを元気にする新たな試み
「ハイパーテキストシティ構想」－」，岩田屋社内報『きらめき』11
月号，2004
- [10.4] 2004年11月10日 朝日新聞朝刊26面 「福岡市 価値どう高める
福大で20・21日 シンポや研究会」
- [10.5] 2004年11月16日 西日本新聞朝刊24面 「都心再生どう描く
魅力向上へシンポ」
- [10.6] 2004年11月21日 西日本新聞朝刊32面 「回遊性高め都心に魅

力 福岡市で再開発シンポ」

- [10.7] 2005年1月4日 西日本新聞朝刊1面 「地下鉄七隈線 都心経済効果年177億円」
- [10.8] 2005年1月4日 毎日新聞夕刊1面 「もうすぐ七隈線：まちが変わる① 天神2極化 -地下街延伸が引き金に-
- [10.9] 2005年1月19日 読売新聞夕刊6面 「七隈線開業：16駅かいわい 七隈 福岡大“城下町”の中心」
- [10.10] 2005年1月29日 朝日新聞夕刊1面 「「乗り放題」バス 速く確実七隈線 福大生どっち？ 地下鉄優位「1500円分」福大研」
- [10.11] 2005年1月30日 西日本新聞朝刊1面 「進化する街2-2.3 福岡新地下鉄開業- 街の「質」に変化を促す」
- [10.12] 2005年1月31日 朝日新聞夕刊9面 「福岡地下鉄七隈線 交通網相乗効果がカギ」
- [10.13] 2005年2月1日 読売新聞18, 19面 「ますます南下現象が加速」
(福岡市営地下鉄3号線開業特集 Vol.1より)
- [10.14] 2005年2月3日 日本経済新聞14面 「天神変身七隈線発車ベル
(下) バスと連携、集客のカギ -駅前整備など課題も」
- [10.15] 2005年3月1日 西日本新聞朝刊9面 「西鉄に「業績賞」 日本不動産学会」
- [10.16] 2005年3月1日 読売新聞朝刊36面 「ソラリア開発、西鉄に業績賞 日本不動産学会「街活性化に成功」」

11. 新聞・雑誌報道 (コメント)

- [11.1] 2004年4月8日 朝日新聞夕刊8面 「今きらめき通り：4 車の洪水、夢はホコ天 (福博四話)」
- [11.2] 2004年10月15日 南日本新聞朝刊15面 「将来考える好機に

九州圏の学者ら出前授業」

- [11.3] 2004年10月20日 読売新聞朝刊 30面 「今泉ドリーム 天神の隣町から -9 人を呼び込むカフェ」
- [11.4] 2004年10月27日 読売新聞朝刊 31面 「今泉ドリーム 天神の隣町から -10 「都心回帰」 中心地に」
- [11.5] 2005年2月11日 毎日新聞朝刊 26面 「七隈線1日平均6万6451人 乗客目標の6割 開業1週間」
- [11.6] 2005年3月4日 毎日新聞朝刊 26面 「七隈線 早くもお荷物!? 開業1カ月 乗客目標、半数割れ このままでは…償還計画大幅見直し必至」

12. テレビ報道

- [12.1] RKB 番組名『RKB ニュースワイド』(2004年5月4日放送分)
「“裏が表に” 天神様変わり」にて、斎藤参郎所長のコメントが放映される。
- [12.2] TVQ 番組名『九州経済NOW』(2004年10月23日放送分) 「天神の北と南 顧客争奪戦」にて、斎藤参郎所長のコメントが放映される。
- [12.3] KBC 番組名『KBC ニュースピア』(2005年1月25日放送分)
「特集 数字で見る“七隈線景気”」で、地下鉄3号線開通での福岡都心部にもたらす経済効果について、その研究結果と、斎藤参郎所長のコメントが放映される。
- [12.4] KBC 番組名『KBC ニュースピア』(2005年1月26日放送分)
「特集 七隈線開業 買い物客を取り込め」で、斎藤参郎所長のコメントが放映される。
- [12.5] TNC 番組名『ももち報道K宣言』(2005年1月29日放送分) 斎藤参郎所長生出演。「ついに開業!! 地下鉄七隈線」にて、価格の設

定による福大生の地下鉄定期券と西鉄バスエコルカードの選択の変化の研究と、地下鉄七隈線開通での福岡都心部にもたらす経済効果の研究の結果について紹介する。

- [12.6] NHK 番組名『情報ワイド 福岡いちばん星』(2005年2月1日放送分)「利用者呼び込め 天神の戦略」で、地下鉄3号線開通での福岡都心部にもたらす経済効果について、その研究結果と、斎藤参郎所長のコメントが放映される。
- [12.7] RKB 番組名『今日感テレビ イブニングニュース』(2004年2月1日放送分)「七隈線 VS 西鉄バス 福大生獲得で火花」にて、価格の設定による福大生の地下鉄定期券と西鉄バスエコルカードの選択の変化の研究の内容と斎藤参郎所長のコメントが放映される。
- [12.8] FBS 番組名『めんたいワイド』(2005年2月7日放送分)「特集 宮地岳線に黄信号」にて、斎藤参郎所長のコメントが放映される。
- [12.9] TKU 番組名『TKU スーパーニュースびゅあビューア』(2005年2月16日放送分)「天神地下街延伸！隣接3百貨店の集客戦略」にて、斎藤参郎所長のコメントが放映される。
- [12.10] RKB 番組名『今日感テレビ イブニングニュース』(2005年3月3日放送分)「地下鉄七隈線 不振の理由」にて、斎藤参郎所長のコメントが放映される。
- [12.11] TNC 番組名『TNC スーパーニュース』(2005年3月4日放送分)「岩田屋リニューアルから1年 天神はどう変わる？」で、斎藤参郎所長のコメントが放映される。